

政策5

集い つながり 活気あふれるまち

＜産業分野＞

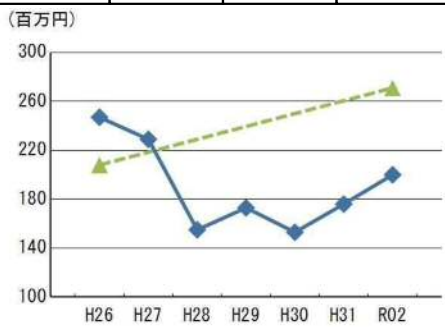

政策 05 集い つながり 活気あふれるまち

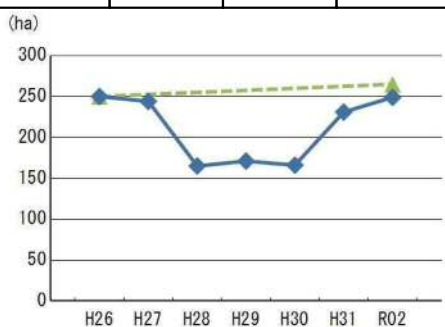

施策 01 農業の振興

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市内の農業者	農業生産額が増加しています。

施策の成果状況と評価

指標①	農業総生産額			単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標のうごき
	社会	業務取得	上がると良い	農政課	百万円	208	176	200	271
評価	指標は2か年前の県統計実績値。過年度修正生じる場合あり								目標達成度  (低)
	(状況) 令和2年度(平成30年度実績)は2億円で、平成31年度(平成29年度実績)より24百万円増加しましたが、後期基準値より8百万円減少しており、後期目標値を達成していません。 (原因)「米の生産の目安」に基づく需要に応じた適正な生産が行われたことにより、米価が維持され、前年度を上回ったものの、大区画ほ場整備促進事業の工事施工に伴い、中部・東部工区の102ヘクタールで作付できなかったことが要因です。								

指標②	作付面積			単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	農政課	ha	250	231	249	265
評価	指標は市内農業者による市内農地の作付面積								目標達成度  (低)
	(状況) 令和2年度は249haで、平成31年度より18ha増加したものの、後期基準値より1ha減少しており、後期目標値を達成していません。 (原因) ほ場整備区域内の面的整備の完了に伴い、作付面積は増加したものの、市街化区域内の農地転用により、市内の農地面積が減少していることが主な要因です。								

□基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 担い手の育成と経営安定化
基本事業 02 生産性が高い農業経営基盤の整備
基本事業 03 地産地消の推進

基本事業01 担い手の育成と経営安定化

指標①	農業生産組織数(累計)				単位	基準値(H26)	実績値(H31)	実績値(R02)	目標値(R02)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	農政課	組織	0	4	4	6	 (向上) 目標達成度 (低)
評価	目標値は平成28年度を初年度とする5年間の累計(実績値も同様の考え方)				(組織) 					
	(状況) 令和2年度は平成31年度と同数の4組織で、後期基準値より4組織増加しましたが、後期目標値を達成していません。 (原因) ほ場整備事業の換地業務が未完了のため、農地の権利が確定しておらず、各地域における農地集約の方向性や、その将来的な受け皿となる組織等についての検討が十分にできていないことが要因です。									

基本事業01 担い手の育成と経営安定化

指標②	担い手農業者数				単位	基準値(H26)	実績値(H31)	実績値(R02)	目標値(R02)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	農政課	人	38	61	61	60	 (向上) 目標達成度 (達成)
評価	目標値は令和2年度までの累計(実績値も同様の考え方)				(人) 					
	(状況) 令和2年度は平成31年度と同数の61人で、後期基準値より23人増加しており、後期目標値を達成しています。 (原因) 大豆転作等の集落営農を目的とした法人が設立される等、ほ場整備事業の進捗に伴い増加した認定農業者等の担い手農業者が各種支援等の活用により、経営の安定化が図られ、継続して営農できていることが要因です。									

基本事業02 生産性が高い農業経営基盤の整備

指標①	ほ場整備面積(累計)				単位	基準値(H26)	実績値(H31)	実績値(R02)	目標値(R02)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	農政課	ha	0	283	283	283	 (向上) 目標達成度 (達成)
評価	目標値は令和2年度までの累計(実績値も同様の考え方)				(ha) 					
	(状況) 令和2年度は、平成31年度において全ての面的整備が完了したことにより、同数の283haとなっており、後期目標値を達成しています(整備計画:平成27~令和3年度)。 (原因) ほ場整備事業による農業生産基盤の整備(面的整備・ハード事業)が順調に進んだことが要因です。									

基本事業02 生産性が高い農業経営基盤の整備

指標②	宝堰用水路整備延長(累計)				単位	基準値(H26)	実績値(H31)	実績値(R02)	目標値(R02)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	農政課	km	0	2.2	2.2	2.2	 (向上) 目標達成度 (達成)
評価	目標値は令和2年度までの累計(実績値も同様の考え方)				(km) 					
	(状況) 平成31年度で水路整備が完了し、全線供用開始したことにより、累計整備延長は2.2kmとなっており、後期目標値を達成しています(整備計画:平成28年~31年度)。 (原因) 計画どおり整備が順調に進んだことが要因です。									

□基本事業の成果状況と評価

基本事業02 生産性が高い農業経営基盤の整備

指標 ③	農地集積率			単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	農政課	%	20.1	56.7	70.9	70
評 価	担い手耕作面積/ほ場整備対象農用地面積				(%)				
	<p>(状況) 令和2年度は70.9%で、平成31年度より14.2ポイント、後期基準値より50.8ポイント増加し、後期目標値を達成しています。 (原因) ほ場整備区域内の面的整備完了に伴い、意欲的な担い手農業者が中心となり、積極的に作業受託を推進したことが主な要因です。</p>								

基本事業02 生産性が高い農業経営基盤の整備

指標 ④	新たな園芸施設の設置面積 (累計)			単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	農政課	m	0	168	1,194	825
評 価	目標値は令和2年度までの累計(実績値も同様の考え方)				(m)				
	<p>(状況) 令和2年度は1,194m²で、平成31年度より1,026m²増加し、後期目標値を達成しています。 (原因) 園芸施設建設費補助金を活用し、大規模園芸施設1棟が建設されたことが要因です。</p>								

基本事業03 地産地消の推進

指標 ①	地元農産物を購入したことがある市民割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	農政課	%	64.7	60.1	57.8	➡️
評 価	(状況) 令和2年度は57.8%で、平成31年度より2.3ポイント、後期基準値より6.9ポイント減少しており、後期目標値を達成していません。 (原因) 単身世帯や共働き世帯の増加に伴い、手間が省けるカット野菜の需要が年々拡大していることに加え、新型コロナウイルス感染症の影響により、市民イベント等が中止となり、地元農産物の購入機会が減少したことが伸びにつながらない要因と考えられます。				(%)				

政策 05 集い つながり 活気あふれるまち

施策 02 商工業の振興

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
商工業者、商工業団体、勤労者、就職希望者	商工業が活性化し、雇用の拡大が図られています。

施策の成果状況と評価

指標 ①	市内総生産額(第二次産業)				単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標の うごき
	社会	業務取得	上がると良い	商工観光課						
	指標は2か年前の県統計実績値。過年度修正生じる場合あり				億円	379	299	311	—	☂ (低下)
評価	(状況) 令和2年度(平成30年度実績)は、311億円で、平成31年度(平成29年度実績)より12億円増加しましたが、後期基準値より68億円減少しています。 (原因) 後期基準年度における復興特需が収束し、建設業が大きく減少している一方で、平成31年度(平成29年度実績)に落ち込みのあった製造業に、若干の回復が見られたことが、主な要因です。								目標 達成度	---

指標 ②	市内総生産額(第三次産業※公務除く)				単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標の うごき
	社会	業務取得	上がると良い	商工観光課						
	指標は2か年前の県統計実績値。過年度修正生じる場合あり				億円	—	1,061	1,097	—	☀ (横ばい)
評価	(状況) 令和2年度(平成30年度実績)は1,097億円で、平成30年度(平成28年度実績)の1,064億円より33億円、平成31年度(平成29年度実績)より36億円増加しています。 (原因) 平成31年度(平成29年度実績)と比較すると、回復している業種が多く見られたことが原因です。								目標 達成度	---

指標 ③	有効求人倍率				単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標の うごき
	社会	業務取得	上がると良い	商工観光課						
	塩釜公共職業安定所管内における当該年度3月時点の率				倍	0.87	0.97	0.85	—	☁ (横ばい)
評価	(状況) 令和2年度年度は0.85倍で、平成31年度より0.12ポイント減少し、後期基準値より0.02ポイント減少しており、横ばいです。 (原因) 全国的な動向として新型コロナウイルス感染症の影響により求人数が減少したことが要因と考えられます。								目標 達成度	---

□基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 地域商業の活性化
基本事業 02 企業の経営支援
基本事業 03 雇用・就労の支援

基本事業01 地域商業の活性化

指標①	市内の小売・飲食業者数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標の うごき
	社会	業務取得	上がると良い	商工観光課	店	608	531	525	—	
評価	<p>(状況) 令和2年度は525店で、平成31年度より6店、後期基準値より83店減少しています。 (原因) 事業継承者不足等に加え、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う飲食店利用者の減少も要因と考えられます。</p>									

基本事業01 地域商業の活性化

指標②	食料品や日用品を市内で買う市民割合				単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	商工観光課	%	90.9	90.9	91.1	➔	
評価	<p>(状況) 令和2年度は91.1%で、平成31年度より0.2ポイント増加し、横ばいです。後期目標値を達成していませんが、市民アンケート指標であり統計誤差の範囲です。 (原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により、市外への外出を控えていることや市内のスーパーマーケットや大型商業施設が充実しており食料品や日用品を購入出来る環境が整っていることが要因と考えられます。ただし、商店街や商店での購入は10%未満となっています。</p>									

基本事業01 地域商業の活性化

指標③	市内の飲食店を利用する市民割合				単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	商工観光課	%	56.1	55	57.5	➔	
評価	<p>(状況) 令和2年度は57.5%で、平成31年度より2.5ポイント、後期基準値より1.4ポイント増加しています。後期目標値を達成していませんが、市民アンケート指標であり、統計誤差の範囲です。 (原因) 平成31年度と比較すると新型コロナウイルス感染症の影響により、外出を控えて市内飲食店のデリバリーやテイクアウトを利用する方が増加していることが要因と考えられます。</p>									

基本事業02 企業の経営支援

指標①	市内の事業者数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標の うごき
	社会	業務取得	上がると良い	商工観光課	事業者	1,713	1,644	1,641	—	
評価	<p>(状況) 令和2年度は1,641事業者で、平成31年度より3事業者、後期基準値より72事業者減少しています。 (原因) 増加している業種も見られますが、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けていると考えられる飲食サービス業、小売業の事業者数が減少していることが要因と考えられます。</p>									

□基本事業の成果状況と評価

基本事業03 雇用・就労の支援

指標 ①	地域職業相談室の就職者数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	商工観光課	人	975	710	515	1,050	
評価	<p>(状況) 令和2年度は515人で、平成31年度より195人、後期基準値より460人減少しており、後期目標値を達成していません。 (原因) 相談室以外の媒体等(就職情報サイト等)を利用している人が増えていることが要因として考えられます。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、求人数も減少しています。</p>								(低下) 目標達成度 (低)	


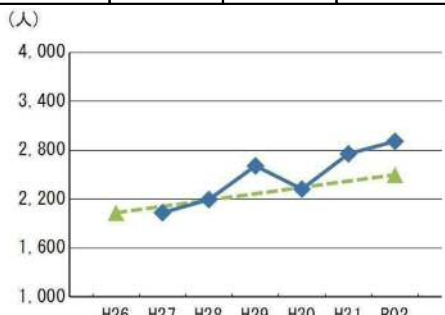


政策 05 集い つながり 活気あふれるまち


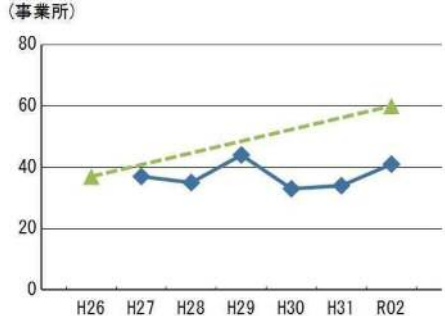


施策 03 企業誘致の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
進出を希望する企業、業務拡大を目指す既存企業	市内に新規立地する企業が増加し、雇用が拡大しています。

施策の成果状況と評価

指標①	市内製造業の従業者数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標の うごき
	社会	業務取得	上がると良い	商工観光課						
	指標は2か年前の実績値				人	2,035	2,757	2,910	2,500	 (向上)
評価	(状況) 令和2年度(平成30年度実績)は2,910人で、平成31年度(平成29年度実績)より153人、後期基準値より875人増加し、順調であり、後期目標値を達成しています。 (原因) 東日本大震災の影響で従業員数が減少していましたが、復旧・復興が進展し、近年は従業員数が増加していることが要因です。								 目標達成度  (達成)	

指標②	市内製造業者数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標の うごき
	社会	業務取得	上がると良い	商工観光課						
	指標は2か年前の実績値				事業所	37	34	41	60	 (横ばい)
評価	(状況) 令和2年度(平成30年度実績)は41事業所で、平成31年度(平成29年度実績)より7事業所、後期基準値より4事業所増加し、横ばいであり、後期目標値を達成していません。 (原因) さんみらい多賀城復興団地内で2事業者の操業が開始されたことが要因の1つと考えられます。								 目標達成度  (低)	

□基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 津波復興拠点への企業誘致

基本事業 02 企業進出の促進

基本事業01 津波復興拠点への企業誘致

指標 ①	津波復興拠点の立地面積率（さんみらい多賀城・復興団地）			単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	商工観光課	%	0	94	100	100
評価	(状況) 令和2年度は100%となりました。立地事業者数の累計は、平成27年度2社、平成28年度6社、平成29年度8社、平成30年度9社、平成31年度11社、令和2年度12社となっています。 (原因) 全ての区画に企業立地が完了したことが要因です。								目標 達成度
									☰ (達成)

基本事業02 企業進出の促進

指標 ①	新たに立地した事業所数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標の うごき
	社会	業務取得	上がると良い	商工観光課	事業所	92	73	84	100
評価	年度内の新規事業所数								目標 達成度
	(状況) 令和2年度は84事業所で、平成31年度より11事業所増加していますが、後期基準値より8事業所減少しており、後期目標値を達成していません。 (原因) 平成28年に市街地再開発ビルが竣工したことにより、多賀城駅周辺に賑わいが創出され、新たな事業所がすでに進出し、企業の新規進出の動きが少なくなっていることが要因と考えられます。								☰ (低)


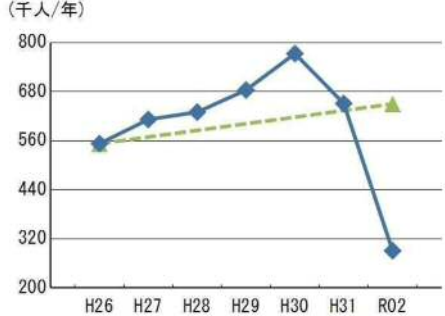

政策 05 集い つながり 活気あふれるまち

施策 04 観光の振興

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市全域、市内外からの来客者	多賀城市に来る観光客が増加し、イベント等での賑わいが増えています。

施策の成果状況と評価

指標 ①	観光客入込数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	商工観光課	千人/ 年	553	651	291	650	 (低下)
評価	(状況) 令和2年度は291千人で、後期基準値より262千人、平成31年度より360千人減少し、後期目標値より大きく減少しました。 (原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により各種イベント等が中止になったことや、緊急事態宣言等により不要不急の外出自粛が呼びかけられたことが大きな要因と考えられます。				(千人/年) 				目 標 達 成 度  (低)	

□基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 多賀城市のPR
基本事業 02 観光推進団体等への支援
基本事業 03 観光しやすいまちへの環境整備

基本事業01 多賀城市のPR

指標①	観光協会のホームページアクセス数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	商工観光課	件/年	105,436	90,751	79,768	120,000	☔ (低下)
評価	平成31年度から指標の取り方を変更しています。									目 標 達成度
	(状況) 令和2年度は79,768件で、平成31年度より10,983件減少しています。平成31年度から多賀城市観光協会がアクセス数の取得方法を変更していることから、後期基準値との比較検討はできない状況です。 (原因) 情報収集の手段としてFacebookを活用する方が増えてきたため、イベント等情報の発信についてはFacebook中心に変更したことが要因です。									(低)

基本事業01 多賀城市のPR

指標②	観光PRに係るキャンペーン及び物販等の実施回数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標のうごき
	代替	業務取得	上がると良い	商工観光課	回/年	16	24	3	20	☔ (低下)
評価	(状況) 令和2年度は3回で、後期基準値より13回、平成31年度より21回減少しており、後期目標値を達成していません。									目 標 達成度
	(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により、各種イベント等が中止となったことが要因です。									(低)

基本事業01 多賀城市のPR

指標③	観光関連情報のマスメディアの掲出件数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	商工観光課	件/年	—	97	94	20	☀ (横ばい)
評価	(状況) 令和2年度は94件で、平成31年度より3件減少しているものの平成28年度の92件より2件増加しており、横ばいです。後期目標値を達成しています。									目 標 達成度
	(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により、各種イベントが中止となったものの、本市の特産品である古代米の情報を積極的に発信したことが要因と考えられます。									(達成)

基本事業02 観光推進団体等への支援

指標①	市民主体の誘客イベント数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	商工観光課	件/年	10	18	4	30	☔ (低下)
評価	(状況) 令和2年度は4件で、平成31年度より14件、後期基準値より6件減少しており、後期目標値を達成していません。									目 標 達成度
	(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により、ほとんどのイベントが中止となったことが要因です。また、開催したイベントについても規模縮小等の対策を講じての開催となりました。									(低)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業02 観光推進団体等への支援

指標 ②	主体的に誘客イベントを行っている団体数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	商工観光課	団体	10	11	11	10	
評価	(状況) 令和2年度は11団体で、後期基準値より1団体増加し、後期目標値を達成しています。 (原因) これまで誘客イベントを行っている団体が、継続してイベントを実施していることが要因です。今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響によりイベントを実施できなかった団体が多くありましたが、同感染症の影響下でも開催できる方法を検討するなど前向きな団体が多くあります。				(団体) 				(横ばい) 目標達成度 (達成)	

基本事業03 観光しやすいまちへの環境整備

指標 ①	観光しやすいまちへの整備件数(累計)				単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	商工観光課	件	143	165	164	150	
評価	目標値は令和2年度までの累計(実績値も同様の考え方) (状況) 令和2年度は164件で、後期基準値より21件増加しており、後期目標値を達成しています。 (原因) 観光サイン整備計画に基づき計画的に施工していることが要因です。				(件) 				(横ばい) 目標達成度 (達成)	

基本事業03 観光しやすいまちへの環境整備

指標 ②	観光客の満足度				単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	課独自調査	上がると良い	商工観光課	%	—	53.2	65.3	→	
評価	(状況) 令和2年度は65.3%で平成31年度より12.1ポイント増加、平成28年度の44.8%より20.5ポイント増加しており、順調で、後期目標値を達成しています。 (原因) アンケート調査による要望等を整理し、取り入れたりするなど、改善を行ったことが要因と考えられます。				(%) 				(向上) 目標達成度 (達成)	

政策6

心がかよう地域の絆を育むまち

<地域経営分野>

政策 06 心がかよう地域の絆を育むまち

施策 01 地域コミュニティの充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
自治会・町内会、自治会・町内会のリーダー、市民	自治会・町内会の活動が活発に行われ、暮らしやすい地域になっています。

施策の成果状況と評価

指標 ①	自治会・町内会活動に参加している市民割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	地域コミュニティ課	%	29	29.3	26.7	→
評 価	<p>(状況) 令和2年度は26.7%で、平成31年度より2.6ポイント、後期基準値より2.3ポイント減少しています。後期目標値を達成していませんが、市民アンケート指標であり、統計誤差の範囲です。</p> <p>(原因) 年齢別では30代を除く全ての年代で減少しています。新型コロナウイルス感染症の影響により、例年に比べて自治会・町内会活動が行えなかったことで、地域活動に参加する機会が減少したことが要因と考えられます。</p>							目 標 達 成 度 ■■■ (高)	

□基本事業の成果状況と評価

基本事業 01	自治会・町内会活動の啓発
基本事業 02	自治会・町内会への支援
基本事業 03	自治会・町内会活動支援施設の整備
基本事業 04	地域経営の基盤構築
基本事業 05	共生社会の推進

基本事業01 自治会・町内会活動の啓発

指標①	自治会・町内会活動の必要性を理解している市民割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	地域コミュニティ課	%	37.6	43.2	37.5	→
評価	<p>(状況) 令和2年度は37.5%で、平成31年度より5.7ポイント、後期基準値より0.1ポイント減少しています。後期目標値を達成していませんが、市民アンケート指標であり、統計誤差の範囲です。</p> <p>(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により、例年に比べて自治会・町内会活動が行えなかったことで、町内会の活動やその必要性について理解する機会が減少したことが要因と考えられます。</p>								(横ばい) 目標達成度 ■■■ (高)

基本事業01 自治会・町内会活動の啓発

指標②	自治会・町内会加入率			単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	地域コミュニティ課	%	—	85.1	84	90
評価	<p>平成29年度から指標の取り方を変更しています。</p> <p>(状況) 令和2年度は84.0%で、平成29年度の91.6%より7.6ポイント、平成31年度より1.1ポイント減少しており、後期目標値を達成していません。</p> <p>(原因) 自治会・町内会活動の必要性が分からないという方の割合が39歳以下で3割を超えていることが要因と考えられます。</p>								(横ばい) 目標達成度 ■■ (低)

基本事業02 自治会・町内会への支援

指標①	自治会・町内会活動に対する行政からの支援メニューを活用した地域数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標のうごき
	代替	業務取得	上がると良い	地域コミュニティ課	自治会等	19	33	6	46
評価	<p>(状況) 令和2年度は6自治会等で、平成31年度より27自治会等、後期基準値より13自治会等減少しており、後期目標値を達成していません。</p> <p>(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響で、自治会等の活動が行えなかったことが要因と考えられます。</p>								(低下) 目標達成度 ■■ (低)

基本事業03 自治会・町内会活動支援施設の整備

指標①	自治会・町内会活動を行うための場所が充足していると思う市民割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	地域コミュニティ課	%	44.7	45.4	45.1	→
評価	<p>(状況) 令和2年度は45.1%で、平成31年度より0.3ポイント減少していますが、後期基準値より0.4ポイント増加しており、後期目標値を達成しています。市民アンケート指標であり、統計誤差の範囲で、横ばいです。</p> <p>(原因) 平成22年度からの地区集会所整備補助金の増額や、被災地域交流拠点整備事業補助により地区集会所の整備が進んだことが要因と考えられます。</p>								(横ばい) 目標達成度 ■ (達成)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業03 自治会・町内会活動支援施設の整備

指標②	安全性や利便性が改善された活動拠点数(累計)				単位	基準値(H26)	実績値(H31)	実績値(R02)	目標値(R02)	指標のうごき
	代替	業務取得	上がると良い	地域コミュニティ課	箇所	24	43	45	35	
評価	目標値は令和2年度までの累計(実績値も同様の考え方)									☀️ (向上)
	<p>(状況) 令和2年度は45か所で、平成31年度より2か所、後期基準値より21か所増加し、後期目標値を達成しています。</p> <p>(原因) 平成22年度からの地区集会所整備補助金の増額及び被災地域交流拠点整備事業補助の活用により、地区集会所の修繕が進んでいることが要因です。</p>									■ 目標達成度 (達成)

基本事業04 地域経営の基盤構築

指標①	多様な主体(他の町内会、NPO、企業等)との広域連携等により地域課題解決に取り組み、効果が現れた自治会・町内会の数				単位	基準値(H26)	実績値(H31)	実績値(R02)	目標値(R02)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	地域コミュニティ課	団体	9	18	18	23	
評価	<p>(状況) 令和2年度は18団体で、平成31年度と同数ですが、後期基準値より9団体増加しています。順調ですが、後期目標値を達成していません。すでに取組を始めている高橋地区では、4地区合同により自立的・活発な町内会活動が行われており、広域連携の効果が見られます。</p> <p>(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により、例年に比べて自治会・町内会活動が行えず、新たな取組を始める自治会・町内会がなかったことが要因と考えられます。</p>									☀️ (向上)
										■ 目標達成度 (低)

基本事業05 共生社会の推進

指標①	性別や国籍等で差別されず、人権が尊重されるまちだと思ふ市民割合				単位	基準値(H26)	実績値(H31)	実績値(R02)	目標値(R02)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	地域コミュニティ課	%	54.7	55.7	54.6	➔	
評価	<p>(状況) 令和2年度は54.6%で、平成31年度より1.1ポイント、後期基準値より0.1ポイント減少しています。後期目標値を達成していませんが、市民アンケート指標であり、統計誤差の範囲です。</p> <p>(原因) 安心して暮らせるまちだと思ふ市民の割合は、性別や年代での大きな差異は見られません。全体の約27%の方が「わからない」と回答しており、自分が暮らす地域・社会の現状について理解する機会が不足していることが要因と考えられます。</p>									☁️ (横ばい)
										■ 目標達成度 (高)


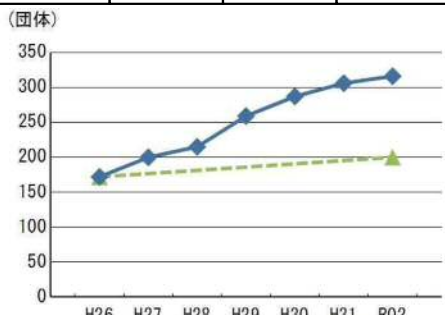

政策 06 心がかよう地域の絆を育むまち


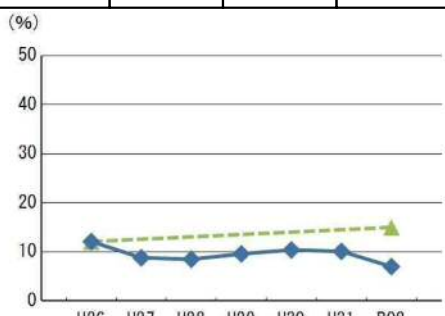

施策 02 市民活動の充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民活動団体、市民活動を実践している市民、市民（個人を含む多賀城市を構成する多様な主体）、市職員	市民による自主・自発的な活動が活発に行われています。

施策の成果状況と評価

指標①	団体情報ファイルに登録されている市民活動団体数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	地域コミュニティ課						
	各年度末現在の数値。登録団体数は近隣二市三町の団体を対象				団体	172	306	316	200	 (向上)
評価	(状況) 令和2年度は316団体で、平成31年度より10団体、後期基準値より144団体増加し、後期目標値を達成しています。 (原因) 市民活動サポートセンターの相談対応を経て活動を始めた、拠点を本市に移す団体があるなど、施設の認知度が向上し、施設を活用する団体が増えたことが要因と考えられます。								目標 達成度  (達成)	

指標②	NPO活動やボランティア活動等の市民活動を行っている市民割合				単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	地域コミュニティ課						
					%	12.1	10.1	7	→	 (低下)
評価	(状況) 令和2年度は7.0%で、平成31年度より3.1ポイント、後期基準値より5.1ポイント減少しており、後期目標値を達成していません。 (原因) 市民活動への参加率は30代及び40代では増加していますが、60代以上で大きく減少しており、新型コロナウイルス感染症の影響で、例年に比べて市民活動やボランティア活動が行えなかったことが要因と考えられます。								目標 達成度  (低)	

□基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 市民活動の啓発
基本事業 02 市民活動団体への支援
基本事業 03 市民協働実践のための職員育成

基本事業01 市民活動の啓発

指標①	市民活動に参画したいと思う市民割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	地域コミュニティ課	%	49.3	53.8	44.8	→
評価	<p>(状況) 令和2年度は44.8%で、平成31年度より9.0ポイント、後期基準値より4.5ポイント減少しており、後期目標値を達成していません。市民アンケート指標であり、統計誤差の範囲であり、横ばいです。 (原因) 新型コロナウイルス感染症の影響で、市民活動サポートセンターの利用者数・相談件数が減少しており、市民活動に関心を持つ機会が減ったことが要因と考えられます。</p>								(横ばい) 目標達成度 (低)

基本事業02 市民活動団体への支援

指標①	市の支援が役立っていると思う市民活動実践者割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	課独自調査	上がると良い	地域コミュニティ課	%	62.7	66.1	67.8	→
評価	<p>市民活動サポートセンター利用者アンケートの結果 (状況) 令和2年度は67.8%で、平成31年度より1.7ポイント、後期基準値より5.1ポイント増加しており、後期目標値を達成しています。 (原因) 市民活動サポートセンターを利用する際の環境や設備が適切に維持されているとともに、当該施設の職員の対応について利用者から高い評価を得ていることが要因です。</p>								(横ばい) 目標達成度 (達成)

基本事業03 市民協働実践のための職員育成

指標①	市民参画や協働を日常業務で実践している職員割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	職員アンケート	上がると良い	地域コミュニティ課	%	20.2	23	19.7	→
評価	<p>(状況) 令和2年度は19.7%で、平成31年度より3.3ポイント、後期基準値より0.5ポイント減少しており、後期目標値を達成していません。 (原因) 「趣旨は理解しているが業務で実践できていない、どう業務に組み込んでいいかわからない」と答えた職員の割合が75.3%となっており、職員の認識の共有が十分ではないことが要因と考えられます。</p>								(横ばい) 目標達成度 (低)

基本事業03 市民協働実践のための職員育成

指標②	市民参画や協働の趣旨を理解している職員割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	職員アンケート	上がると良い	地域コミュニティ課	%	90.4	93.2	95.1	→
評価	<p>(状況) 令和2年度は95.1%で、平成31年度より1.9ポイント、後期基準値より4.7ポイント増加しており、後期目標値を達成しています。 (原因) これまで実施してきた職員研修等により、市民参画や協働の趣旨の理解が、組織的に定着していることが要因と考えられます。</p>								(横ばい) 目標達成度 (達成)

政策 06 心がかよう地域の絆を育むまち

施策 03 開かれた市政の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民及び市内事業者(多賀城市に関心のある市外の者を含む。)	市民の市政への関心が高まっています。 市民が行政との間で適切に情報が共有されています。

施策の成果状況と評価

指標 ①	市政に関心がある市民割合				単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	地域コミュニティ課						
					%	71.2	68.4	65.4	→	☂ (低下)
評価	(状況) 令和2年度は65.4%で、平成31年度より3.0ポイント、後期基準値より5.8ポイント減少しており、後期目標値を達成していません。 (原因) 30代以上の各年代では、まちづくりに関心のある方が半数以上いるものの、20代では、極端に低いことから、当該世代のまちづくりに対して興味や関心を持つ機会が少ないことが要因と考えられます。									目標 達成度
					■ ■ ■ (低)					

指標 ②	市民と行政との間で市政情報(地域情報、行政情報)が適切に共有されていると思う市民割合				単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	地域コミュニティ課						
					%	89.6	90.2	88.9	→	☁ (横ばい)
評価	(状況) 令和2年度は88.9%で、平成31年度より1.3ポイント、後期基準値より0.7ポイント減少していますが、後期目標値を達成しています。市民アンケート指標であり、統計誤差の範囲であり、横ばいです。 (原因) どの年代においても大きな差異はないことから、各種手法(広報多賀城、市ホームページ、SNS)による市からの情報発信や、広聴機会を設けていることが要因と考えられます。									目標 達成度
					🏰 (達成)					

□基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 適切な情報の発信

基本事業 02 適切な情報の収集

基本事業01 適切な情報の発信

指標 ①	市政情報が適切に提供されていると思う市民割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	地域コミュニティ課	%	94	94	92	→
評価	<p>(状況) 令和2年度は92.0%で、平成31年度及び後期基準値より2.0ポイント減少していますが、後期目標値を達成しています。市民アンケート指標であり、統計誤差の範囲で、横ばいです。 (原因) 広報多賀城、市ホームページ、SNSそれぞれの特性をいかした情報発信を行ったことにより、どの年代においても90%前後の高い満足度となっていることが要因と考えられます。</p>				<p>(%)</p> <p>H26 H27 H28 H29 H30 H31 R02</p>				(横ばい) 目標達成度 (達成)

基本事業02 適切な情報の収集

指標 ①	市政に対する市民の意見・声を伝える場や機会に満足している市民割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	地域コミュニティ課	%	80.7	82.8	82.5	→
評価	<p>(状況) 令和2年度は82.5%で、平成31年度より0.3ポイント減少していますが、後期基準値より1.8ポイント増加しており、後期目標値を達成しています。市民アンケート指標であり、統計誤差の範囲で、横ばいです。 (原因) どの年代においても80%前後の満足度となっており、市民の声(さざんか提言箱)のほか、メールでの問合せ環境を整備していることが要因と考えられます。</p>				<p>(%)</p> <p>H26 H27 H28 H29 H30 H31 R02</p>				(横ばい) 目標達成度 (達成)

政策7

理解と信頼で進める自律したまち

＜行政経営分野＞

政策 07 理解と信頼で進める自律したまち

施策 01 適正な事務の執行とサービスの提供

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民、事業者、行政	行政事務が適正に執行され、市民サービスが提供されています。

施策の成果状況と評価

指標 ①	窓口における市民サービスに満足している市民割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	総務課	%	85.2	88.7	89.7	→
評 価	<p>(状況) 令和2年度は89.7%であり、平成31年度より1.0%ポイント、後期基準値より4.5%ポイント増加しており、後期目標値を達成しています。市民アンケート指標であり、統計誤差の範囲で、横ばいです。</p> <p>(原因) 令和2年度は、平成31年度までと同様に行政事務が適正に執行されたことが要因と考えられます。</p>							目標 達成度 🏰 (達成)	

□基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 適正な契約事務の執行
基本事業 02 適正な会計事務
基本事業 03 適正な選挙事務
基本事業 04 公正な監査事務
基本事業 05 保有情報の適正な管理

基本事業01 適正な契約事務の執行

指標 ①	工事成績調書の評価点数が75点以上の割合				単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	管財課	%	56	67.2	93.3	65	☀ (向上)
評価	<p>(状況) 令和2年度は93.3%であり、平成31年度より26.1ポイント、後期基準値より37.3ポイント増加しており、後期目標値を達成しています。 (原因) 年度毎の実績値に高低はありますが、受注者の技術力及び品質確保の向上、発注者の適切な施工監理・監督が向上の要因と考えられます。</p>								目標 達成度	
									☀ (達成)	

基本事業02 適正な会計事務

指標 ①	例月出納検査時に指導された件数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	下がると良い	会計課	件/年	1	7	7	0	☔ (低下)
評価	<p>(状況) 令和2年度は7件で、平成31年度と同数でしたが、後期基準値より6件増加しており、後期目標値を達成していません。 (原因) 正確な出納審査の実施に取り組んだものの、伝票審査における確認に不十分な点があったことが要因です。</p>								目標 達成度	
									☔ (低)	

基本事業03 適正な選挙事務

指標 ①	選挙に関する事務処理ミス・トラブル件数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	下がると良い	選挙管理委員会事務局	件/年	0	0	0	0	☀ (横ばい)
評価	<p>(状況) 令和2年度は0件で、後期目標値を達成しています。 (原因) 事務従事職員説明会で職員への教育を重点的に実施したことが要因の1つと考えられます。</p>								目標 達成度	
									☀ (達成)	

基本事業03 適正な選挙事務

指標 ⑦	この1年間に行われた各種選挙の投票率（市長）				単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標の うごき
	社会	業務取得	その他	選挙管理委員会事務局	%	38.6	—	48.27	—	---
評価	<p>(状況) 令和2年10月25日執行の多賀城市長選挙の投票率は48.27%で、前回(平成30年8月5日執行)の同選挙(37.82%)より10.45ポイント、後期基準値より9.67ポイント増加しています。 (原因) 市民の市政に対する関心が高まったことが要因の1つと考えられます。</p>								目標 達成度	

□基本事業の成果状況と評価

基本事業04 公正な監査事務

指標①	定期監査時に指摘した事項数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標のうごき
	代替	業務取得	下がると良い	監査委員事務局	件/年	149	138	175	90	
評価	市の全部署を対象に財務及び事務事業の執行について年1回行う監査 (状況) 令和2年度は175件で、平成31年度より37件、後期基準値より26件増加しており、順調ではなく、後期目標値を達成していません。 (原因) 大きく変化する社会状況などにより事務処理が煩雑化したことが、要因の1つと考えられます。									(横ばい) 目標達成度 (低)

基本事業04 公正な監査事務

指標②	例月出納検査時に指摘した事項数 (上水道部を含む)				単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標のうごき
	代替	業務取得	下がると良い	監査委員事務局	件/年	1	14	8	0	
評価	会計管理者・水道事業管理者の現金出納事務を毎月検査するものです。 (状況) 令和2年度は8件で、平成31年度より6件減少しましたが、後期基準値より7件増加しています。後期目標値を達成していません。 (原因) 大きく変化する社会状況などにより事務処理が煩雑化したことが、要因の1つと考えられます。									(低下) 目標達成度 (低)

基本事業05 保有情報の適正な管理

指標①	情報漏えい事件数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	業務取得	下がると良い	総務課	件/年	0	1	1	0	
評価	(状況) 令和2年度は1件で、後期目標値を達成していません。 (原因) 事務におけるデータ処理の誤りにより、個人情報を誤った郵送先に送付したことが要因です。									(低下) 目標達成度 (低)

基本事業05 保有情報の適正な管理

指標②	個人情報開示請求に対する決定に変更のあった件数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	業務取得	下がると良い	総務課	件/年	0	0	0	0	
評価	(状況) 令和2年度は0件で、後期目標値を達成しています。 (原因) 各課等において、個人情報保護制度を理解し、開示請求者に対して適切な説明を行うなど、適正な事務処理に努めていることが要因と考えられます。									(横ばい) 目標達成度 (達成)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業05 保有情報の適正な管理

指標 ③	公文書開示請求に対する決定に変更のあった件数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	下がると良い	総務課	件/年	9	0	0	0	
評 価	(状況) 令和2年度は0件で、後期目標値を達成しています。 (原因) 各課等において、情報公開制度を理解し、開示請求者に対して適切な説明を行うなど、適正な事務処理に努めていることが要因と考えられます。				(件/年) 					☀️ (向上)
										目 標 達 成 度 🏭 (達成)

政策 07 理解と信頼で進める自律したまち

施策 02 組織・人事マネジメント

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
職員	人材育成がなされ、職員の能力が向上し、十分に発揮されています。

施策の成果状況と評価

指標①	組織・職員が、市民・地域の問題や行政課題に関し、迅速かつ適切に対応できていると思う職員割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	職員アンケート	上がると良い	総務課	%	—	71.9	73.4	→
評価	平成27年度からアンケート指標の取り方を変更しています。								
	(状況) 令和2年度は73.4%で、平成31年度より1.5ポイント増加、平成27年度の70.7%より2.7ポイント増加と、横ばいで推移しており、後期目標値を達成していません。 (原因) 新たな行政課題の増加や突発的な対応が求められる事案が増加している中、行政評価・育成評価制度の運用により職員の目的意識の明確化に取り組んでおりますが、組織内への意識の定着には中長期的な取組が必要であることが要因と考えられます。								

指標②	職場にチームワークがあり、活気に満ちていると思う職員割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	職員アンケート	上がると良い	総務課	%	—	71.6	68.5	→
評価	平成27年度からアンケート指標の取り方を変更しています。								
	(状況) 令和2年度は68.5%で、平成31年度より3.1ポイント、平成27年度の71.8%より3.3ポイント減少しており、横ばいであり、後期目標値を達成していません。 (原因) 後期目標値に近い水準で推移しており、概ね業務の連携・協力が行われているものの、他部署と連携し業務を行う経験が比較的少ない主事・主査級の職員において平均値を下回る結果となっていることが要因と考えられます。								

□基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 効果的・効率的な組織づくり
基本事業 02 効果的な人材育成と適正な人事管理
基本事業 03 安全衛生への対処

基本事業01 効果的・効率的な組織づくり

指標①	組織間・組織内連携が十分に図られていると思う職員割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	職員アンケート	上がると良い	市長公室	%	—	54.9	59.2	→
評価	平成27年度からアンケート指標の取り方を変更しています。				(状況) 令和2年度は59.2%で、平成27年度の52.3%より6.9ポイント、平成31年度より4.3ポイント増加しています。横ばいで推移しており、後期目標値を達成しています。 (原因) 主事・主査級、係長級などを対象とした研修を実施しており、組織を超えた活動を通して横の連携が図られるように取り組んでいることが要因と考えられます。	(横ばい)	目標達成度	(達成)	

基本事業01 効果的・効率的な組織づくり

指標②	類似団体平均職員数との差異(普通会計修正値)			単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	業務取得	下がると良い	市長公室	人	-2	42	50	0
評価	平成28年度から類似団体区分が変更となっています。				(状況) 令和2年度は50人で、平成31年度より8人増となっています。国勢調査の結果により平成28年度から多賀城市の類似団体区分が変更され、後期基準値との比較検討はできない状況です。 (原因) 部門別にみると、現在ほ場整備事業等に取り組んでいるために重点配置している文化財、農林水産部門が、類似団体と比較して最も超過率が高くなっています。	---	目標達成度	---	

基本事業01 効果的・効率的な組織づくり

指標③	自分の課で業務の引継ぎ、異動者の早期戦力化の仕組みができていると思う職員割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	職員アンケート	上がると良い	市長公室	%	—	68.6	70.1	→
評価	平成27年度からアンケート指標の取り方を変更しています。				(状況) 令和2年度は70.1%と、平成31年度の68.6%より1.5ポイント、平成27年度の66.6%より3.5ポイント増加していますが、後期目標値を達成していません。 (原因) 大量退職時代を踏まえて、各課ではそれぞれ業務のマニュアル化等に取り組んできましたが、近年、新たな行政課題の複雑化や突発的な対応を求められる事案が増加していることが大きな伸びにつながらない要因の1つと考えられます。	(横ばい)	目標達成度	(低)	

基本事業02 効果的な人材育成と適正な人事管理

指標①	適材適所の人事配置がなされていると思う職員割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	職員アンケート	上がると良い	総務課	%	—	55.1	56.4	→
評価	平成27年度からアンケート指標の取り方を変更しています。				(状況) 令和2年度は56.4%で、平成31年度より1.3ポイント増加、平成27年度の57.5%より1.1ポイント減少と、横ばいで推移しており、後期目標値を達成していません。 (原因) 育成評価や上下評価等により、職員の適性や今後のキャリアプラン等を考慮して、人事配置をしているものの、大量退職期の大幅な異動に伴い、各職員が自らの能力や個性を最大限に発揮できていないと感じていることが要因と考えられます。	(横ばい)	目標達成度	(低)	

□基本事業の成果状況と評価

基本事業02 効果的な人材育成と適正な人事管理

指標 ②	人材育成により能力が向上したと思う職員割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	職員アンケート	上がると良い	総務課	%	73.6	76.2	73.4	→
評価	<p>(状況) 令和2年度は73.4%で、平成31年度より2.8ポイント、後期基準値より0.2ポイント減少しており、後期目標値を達成していません。 (原因) 新たな行政課題の表出で行政課題が複雑化しており、突発的な対応が求められる事案の増加や大量退職、大量採用に伴い十分な育成環境を確保することが困難になっていることが要因と考えられます。</p>								
									(横ばい) 目標達成度 (低)

基本事業03 安全衛生への対処

指標 ①	健康で安心して働くことができると思う職員割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	職員アンケート	上がると良い	総務課	%	82.1	69.5	70.7	→
評価	<p>(状況) 令和2年度は70.7%で、平成31年度より1.2ポイント増加したものの、後期基準値より11.4ポイント減少しており、後期目標値を達成していません。係長級及び主事・主査級の職員で70%より低くなっています。 (原因) 各職員における業務量バランスに偏りがあること、対人折衝によるストレス等が原因と考えられます。</p>								
									(低下) 目標達成度 (低)

基本事業03 安全衛生への対処

指標 ②	公務災害の発生件数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	下がると良い	総務課	件/年	2	7	8	0
評価	<p>(状況) 令和2年度は8件で、平成31年度より1件増加しています。通常業務中の公務災害が3件、通勤途中の公務災害が5件発生しており、通常業務中の災害が減少したものの、通勤途中での災害が増加しています。 (原因) 通勤途中での災害発生については、災害発生の対象職員やその所属長への注意喚起にとどまっておらず、全庁的な注意喚起が十分でなかったことも要因の1つと考えられます。</p>								
									(低下) 目標達成度 (低)

政策 07 理解と信頼で進める自律したまち

施策 03 効果的・効率的な行財政経営の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
職員、市民、組織	行財政経営が効果的・効率的に行われ、まちづくりの目標が達成されています。

施策の成果状況と評価

指標 ①	施策目標の達成率			単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い						
			市長公室	%	—	50	46	50	
	指標のうごき及び目標達成度は統計的観点から評価しません。								
評価	<p>(状況) 令和2年度は46%(19指標)で、平成31年度の50.0%(21指標)より4.0ポイント減少、平成28年度の39.0%(16指標)より7.0ポイント増加しており、横ばいです。後期目標値を達成していません。</p> <p>(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により、外出の抑制や人との交流の制限により達成できなかった指標があることが、要因の1つと考えられます。</p>								---
									目標達成度

指標 ②	効果的・効率的なまちづくりが進められていると思う職員割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	職員アンケート	上がると良い						
			市長公室	%	—	68.1	72.1	→	
	平成27年度からアンケート指標の取り方を変更しています。								
評価	<p>(状況) 令和2年度は72.1%で、平成31年度より4.0ポイント、平成27年度の67.4%より4.7ポイント増加しており、横ばいですが、後期目標値を達成していません。</p> <p>(原因) 行政評価システムを活用した行財政経営について、一定の理解が得られていることがうかがえる一方で、財政状況が厳しく、中・長期的な行財政経営の展望が見えにくいことが大きな伸びにつながらない要因と考えられます。</p>								(横ばい)
									目標達成度

□基本事業の成果状況と評価

基本事業 01	成果志向に基づく行政経営の推進
基本事業 02	健全財政の維持
基本事業 03	公共建築物の管理活用
基本事業 04	公平で公正な課税と収納率向上
基本事業 05	IT技術を活用した行政サービスの充実

基本事業01 成果志向に基づく行政経営の推進

指標①	基本事業目標の達成率			単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標のうごき	
	成果	業務取得	上がると良い	市長公室	%	—	50	52	45	---
評価	指標のうごき及び目標達成度は統計的観点から評価しません。									目標達成度
	<p>(状況) 令和2年度は52.0%(100指標)で、平成31年度の50.0%(99指標)より2.0ポイント、平成28年度の39.0%(80指標)より13.0ポイント増加しており、順調に推移し、後期目標値を達成しています。</p> <p>(原因) 政策2「元気で健やかに暮らせるまち」の指標が、平成28年度13指標より9指標増加していることが、主な要因です。災害公営住宅の整備など被災者への生活再建支援関連分野の事業進捗が順調であったことが効果に繋がっている要因と考えられます。</p>									---

基本事業01 成果志向に基づく行政経営の推進

指標②	行政評価の考え方を意識して事業を推進している職員割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標のうごき	
	成果	職員アンケート	上がると良い	市長公室	%	75.9	81.2	83.4	➔	(向上)
評価	<p>(状況) 令和2年度は83.4%で、平成31年度より2.2ポイント増加し、後期基準値より7.5ポイント増加しています。順調であり、後期目標値を達成しています。年齢が高いほど意識している職員が多い傾向にあります。</p> <p>(原因) 行政評価への意識が浸透し、理解が進んだことが要因と考えられます。</p>									目標達成度
										(達成)

基本事業02 健全財政の維持

指標①	基礎的財政収支（プライマリーバランス）			単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標のうごき	
	成果	業務取得	上がると良い	市長公室	百万円	3,156	4,189	785	0	(低下)
評価	目標値は0以上。(歳入決算額-市債借入額)-(歳出決算額-市債償還額)									目標達成度
	<p>(状況) 令和2年度は785百万円で、後期基準値より2,371百万円、平成31年度より3,404百万円減少しています。後期目標値を達成しています。</p> <p>(原因) 多賀城市震災復興計画の満了に伴い、復興事業に伴う財源が小さくなったことが要因です。</p>									(達成)

基本事業02 健全財政の維持

指標②	実質公債費比率			単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標のうごき	
	成果	業務取得	下がると良い	市長公室	%	11.7	6.7	4.7	9.6	(向上)
評価	<p>(状況) 令和2年度は4.7%で、平成31年度より2.0ポイント、後期基準値よりも7.0ポイント減少しており、後期目標値を達成しています。</p> <p>(原因) 下水道事業債の償還の財源に充てた繰出金額が減少したことにより、算定式の分子となる一般会計等が負担する元利償還金・準元利償還金の額が減ったことが要因です。</p>									目標達成度
										(達成)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業02 健全財政の維持

指標 ③	経常収支比率			単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	下がると良い	市長公室	%	104.4	101.9	99.6	95.6
評価	<p>(状況) 令和2年度は99.6%で、平成31年度より2.3ポイント、後期基準値より4.8ポイント減少しました。後期目標値を達成していません。 (原因) 公債費が減額したことにより算定式の分子となる経常経費充当一般財源が減となり、固定資産税などの税収が増となったことにより、算定式の分母となる経常一般財源総額が増となったことが要因と考えられます。</p>								<p>(横ばい)</p> <p>目標達成度</p> <p>■ (低)</p>

基本事業03 公共建築物の管理活用

指標 ①	市有建築物の維持管理上の事故件数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	下がると良い	管財課	件/年	0	0	0	0
評価	<p>(状況) 令和2年度における市有建築物の維持管理上発生した事故件数は0件となっており、後期目標値を達成しています。 (原因) 事故件数0件を目標とし、自主定期点検報告を受け、施設の予防保全を強化してきたことが要因と考えられます。</p>								<p>(横ばい)</p> <p>目標達成度</p> <p>■ (達成)</p>

基本事業03 公共建築物の管理活用

指標 ②	計画的な修繕の達成率			単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	管財課	%	100	90	33.3	100
評価	<p>施設整備計画で当該年度に改修予定の施設数に対する改修実施施設数</p> <p>(状況) 令和2年度は、計画で9施設を予定していたところ、3施設の整備となり、達成率は33.3%となっており、後期目標値を達成していません。予定施設のうち主な未実施の施設は、多賀城東小学校校舎の改修です。 (原因) 国費の未配分やプールの整備計画に検討を要することとなったため、計画どおりに改修が進まなかったことが、要因です。</p>								<p>(低下)</p> <p>目標達成度</p> <p>■ (低)</p>

基本事業04 公平で公正な課税と収納率向上

指標 ①	行政不服審査申立により、課税誤りがあると認定された件数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	その他	税務課	件/年	0	0	0	0
評価	<p>(状況) 令和2年度も0件です。適正な課税となるよう努めているため、これまで行政不服審査法により課税誤りと認定された事案はありません。 (原因) OJTの実践や外部研修など、職員の業務遂行能力の向上を図り、適正な課税事務に努めてきました。また、納税通知書発送時には、各種税制度等を説明するチラシを同封するなど、課税の根拠等についてより分かりやすい説明に努めてきたことが、要因と考えられます。</p>								<p>---</p> <p>目標達成度</p> <p>---</p>

□基本事業の成果状況と評価

基本事業04 公平で公正な課税と収納率向上

指標②	市税等の収納率			単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	収納課	%	96.8	97.93	97.6	96.5
評価	税目：市民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税、都市計画税								(横ばい) 目標達成度 (達成)
	(状況) 令和2年度は97.60%で、平成31年度より0.33ポイント減少していますが、後期基準値より0.80ポイント増加しており、後期目標値を達成しています。 (原因) 差押え等の滞納処分を強化するなど適切な滞納整理を実施しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、徴収猶予の特例措置を実施したことが収納率減少の要因の1つと考えられます。								

基本事業04 公平で公正な課税と収納率向上

指標③	滞納件数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	下がると良い	収納課	件	4,658	3,358	3,244	4,500
評価	税目：市民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税、都市計画税								(横ばい) 目標達成度 (達成)
	(状況) 令和2年度は3,244件で、平成31年度より114件減少し、後期基準値より1,414件減少しており、後期目標値を達成しています。 (原因) 滞納者の状況等に応じた適切な滞納整理と早期の納税勧奨を実施していることが要因と考えられます。								

基本事業05 IT技術を活用した行政サービスの充実

指標①	市のITサービスを利用している市民割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	ICT推進室	%	49.2	53.1	60.2	→
評価									(向上) 目標達成度 (達成)
	(状況) 令和2年度は60.2%で、平成31年度より7.1ポイント、後期基準値より11.0ポイント増加しており、後期目標値を達成しています。 (原因) 市ホームページの閲覧等を利用している市民割合が増加しており、新型コロナウイルス感染症をはじめ、新しい情報が市ホームページに適宜掲載されることにより、市の事業・状況等の情報収集手段として認知活用されたことが要因と考えられます。								

基本事業05 IT技術を活用した行政サービスの充実

指標②	ネットワーク・システムのダウン件数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H31)	実績値 (R02)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	下がると良い	ICT推進室	件/年	0	0	0	0
評価									(横ばい) 目標達成度 (達成)
	(状況) 令和2年度は0件で、後期目標値を達成しています。 (原因) 平成29年度に実施した通信回線の強化により、安定したネットワーク利用ができていたことが要因です。								

